

60101農業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	11~12	畑と山で伐採作業中、切った杉の木（丸物3m程度のもの）が、安全に作業していた中であつたが、足の上に転がり落ち、左足の足底を骨折した。	70	4	522	1~9
2	2017	12	14~15	圃場周辺にて、大きい木の枝を伐採後、脚立から降りて向きを変えようとした際、足元にあつた木の株へ引っ掛かり、その際に右足首を捻った（全治1ヶ月）。	63	19	712	50~99
3	2017	12	17~18	工場内において、業務終了後にエアーシャワー室から出たところ、床に敷いてあるマットで滑り、転倒した。その際、後頭部をかばおうと床に手をついたところ、左手首を骨折した。	61	2	379	50~99
4	2017	12	9~10	内職を回収するため、台車にコンテナを4個乗せて運んでいたとき、身体を捻りながらコンテナをトラックの荷台に載せたところ、左足脛を捻じり、伸びてしまった。その際、ブチッと音がして、痛みとともに動けなくなった。	67	19	921	10~29
5	2017	12	9~10	お客様宅にて樹木植栽工事中、風よけ支柱設置工事の為、三脚を使用した際、足を踏みはずし、三段目（高さ1.5m位）から落下し、右足首踵を骨折したものである。	46	1	371	10~29
6	2017	11	9~10	自家消費用牧草ロールを足場にして、屋根の骨組みを建築中に、どうしても下に降りなければならなくなり、降りようとして、後ろ向きにバランスを崩して落下した。（牧草ロール2段目（約2.5m位））	51	1	418	1~9

7	2017	11	9～ 10	下水処理場にて剪定作業中、下枝を持ってジャンプして上の枝を払って着地した時、剪定ゴミで足を滑らし尻もちをついて強打し腰を痛めた。	65	2	712	1～ 9
8	2017	11	14～ 15	クレソン栽培しているハウスでコンテナに躓き倒れそうになり咄嗟に支えようと手を出した時、体重がかかり右手を骨折した。	73	2	417	1～ 9
9	2017	11	14～ 15	得意先の庭で剪定作業中に、梯子に上っていて体のバランスを崩し梯子が倒れかけたので、2.5m程下の地面に飛び降りた。	41	1	371	1～ 9
10	2017	11	15～ 16	個人宅の裏のガレージ（3m位）の上の物干し場で柿の木の剪定作業をしていた。ガレージの上でバランスを崩し下に落ちた。	68	1	418	1～ 9
11	2017	11	9～ 10	卵を載せたラック（総重量400kg弱、高さ180cm位、長方形はこ型、四隅の足元にコロがあり手で引くタイプ）を整理する工作中。安全靴を履いてラック置き場内で工作中。ラックアウト入り口に1台ラックがセッティングされており、そのラックの側を通り抜けようとして右足をラックの隅のコロに当てた拍子に左足が滑って広がり、左側の腰から床に倒れて打撲した。	63	2	362	10 ～ 29
12	2017	11	11～ 12	当社駐車場内において草刈現場に放置されていた大型冷蔵庫（幅69cm奥行66cm高さ170cm重さ80kg程）を、2tダンプより地上に同僚と2人で下ろし駐車場の隅の方へ移動するため2人で両手で抱え上げ4～5歩後ろ向きに歩いていた時、冷蔵庫を掴んでいた皮手袋が滑り冷蔵庫が左足甲部と中趾骨辺りに落下し強打受傷したものである。	23	4	612	1～ 9
13	2017	11	13～ 14	収穫物の大豆を、軽トラックで運搬作業中、その農道を西進中、農道十字路で、北進中のゴミ収集車と接触し、軽トラックが転落して負傷した。	60	17	221	1～ 9
				団地内で中木剪定（キンモクセイ）刈り込み作業を三脚を使用して剪定作業を行っていた。三脚は転倒防止のため、補助作業員により支持されていた。作業終了後刈込用トリマーのエンジ				10

14	2017	11	9~ 10	ンを停止して、降りている最中、バリカンの刃が枝に絡み、体勢を崩した後三脚を踏み外して高さ1.4m内外より落下し、臀部・背部を舗装面に打った。約20分後救急車が到着地、病院へ搬送された。（三脚とは、三脚脚立を指す。）	50	1	371	~ 29
15	2017	10	16~ 17	豚小屋でえさやり中に後方よりふくらはぎ両足を豚にかまれる。	57	90	719	1~ 9
16	2017	10	10~ 11	畑にて、ハーベスタを使い、掘り取り作業をしていた。ハーベスタのベルトコンベア部分に芋が残っていたため、手を入れて取り除こうとした際に、手袋が巻き込まれてしまい左手を挟まれる負傷をする。	30	7	169	10 ~ 29
17	2017	10	10~ 11	肥料を買いに行った際、交通事故に遭った。	65	17	231	10 ~ 29
18	2017	10	10~ 11	ミカン園地で収穫作業中にモノレールのストップレバーをレールの下で引いて服が巻き込まれ骨折した。	50	7	229	1~ 9
19	2017	10	8~9	柚子を採集するのに畑近く車を止めた所が坂道であったため、車の後方のドアを閉めようと力を強く入れたはずみで後方に転倒。後方に置いてあったコンテナに腰を強打した。	75	2	417	1~ 9
20	2017	10	8~9	会社からパッカー車で出発後、高速道路を走行中、カーブで左側の車が近づいてきたため、右へハンドルをきった。その際、右側壁面に車が衝突し、右側に横転した。（助手席に乗車）	56	17	231	1~ 9
21	2017	10	11~ 12	柿畑で柿の収穫作業中、棧の高い所にある柿を取るために脚立に登り収穫しようとしたところ、バランスを崩して左方向に落下し、左肩と左腕を地面についた際ケガをした。	44	1	371	1~ 9
22	2017	10	16~ 17	松の剪定をしていて脚立から降りてくる時に、木の枝が邪魔で、その1つの脚立に足を掛けようとしたら、バランスを崩し自分が落ちた後、脚立が体の上に落ちてきた。骨折していた。	62	1	371	1~ 9

23	2017	10	17~ 18	業務車両に乗って作業現場から会社へ戻る際、ガソリンスタンドに入る為に右折のウインカーを出して停止していた車両の後に停まって前の車が右折するまで待っていたところ、後続の車が業務車両に追突し、衝撃で前に押し出され、前に停止していた車に追突した。その際、頸部・背部・頭部を負傷した。	44	17	231	10 ~ 29
24	2017	10	15~ 16	庭木剪定現場に於いて、住宅玄関前の、樫の木の剪定作業開始直後、脚立の滑った音がしたので同僚が確認に行ったところ、被災者が玄関前道路で倒れていた。意識はあったが後頭部から出血していた為、救急搬送したもの。塀の外側の枝を剪定するために、道路に三点式の脚立の梯子部分を立て、木の枝に掛けた上部を固定しようと梯子を登っていた時、梯子が少しずれた為、バランスを崩して転落（脚立の長さ2.7m）した。	59	1	371	1~ 9
25	2017	10	18~ 19	トラックの上から丸太を二人で降ろそうとした時、一人が足を滑らせてしまい丸太から手を離れた際に丸太が不安定になり荷を固定していたワイヤーと丸太に手を挟んでしまった。	41	7	522	1~ 9
26	2017	10	14~ 15	更衣室にて、その日の農業が終了し、着替えをし終えようとしたところ、段差につまずき右足指が地面につき骨折した。	21	2	417	10 ~ 29
27	2017	10	11~ 12	地面から手で届く範囲の柿の収穫中、柿の木の近くの地面に掘ってあるため池に足が落ちた。本人も池があることはわかっていたが、柿の収穫に気を取られていた。落ちる際、腰を捻った。	58	1	417	10 ~ 29
28	2017	10	9~ 10	椎茸を休養させるビニールハウス内で、暖房用のウッドボイラーに、火種として灯油を染み込ませた木屑を撒き薪を投入した際、前日の火種が残っていたため、木屑に染み込んだ灯油が気化したことに気付かず、ライターで火を点けた結果、気化したガスが燃え広がり右腕及び顔の一部に火傷を負った。	21	11	391	10 ~ 29
				事業場農場の川沿いの道を除草作業、防火線切りをしていたと				

29	2017	9	15～ 16	ころ、台風の影響で土砂が道まで流出していたため、道路と土手がわからなくなっており、誤って足を踏み外し土手（3m下）に転落、体（右半身、肩、腕、腰）を打撲したものである。	74	1	711	10 ～ 29
30	2017	9	8～9	ハウスの修理の作業中に、ハシゴから下りる途中で足を滑らせて着地した際に、右足首をひねった状態で着地し、捻挫した。	30	19	371	1～ 9
31	2017	9	12～ 13	個人所有の敷地内で草刈作業中に雑草が背丈以上だったにも関わらず足元を注意深く確認せずに作業を行ったため足元の水路（深さ約1.3m）に気付かず滑落し、左胸部を強打した。	73	1	711	1～ 9
32	2017	9	11～ 12	街路樹剪定のため、10尺の脚立を高木に括り固定してから、安全帯を付けて高木に登り剪定作業を行っていた、剪定作業完了後、高木から脚立に移り安全帯を外した。脚立から降りる際、足を踏み外してしまい、滑り落ちてしまった。ヘルメットを付けていたが、頭部を切ってしまい2針縫う怪我になった。	66	1	371	10 ～ 29
33	2017	9	14～ 15	ダンプトラック（軽自動車）に消毒機械を積載し病害虫防除作業を実施した。防除作業終了後に事務所へ帰り、機械を格納するため降ろそうとしてダンプトラックの後あおりを外したところ落下して左足先に当たった。	63	4	221	10 ～ 29
34	2017	9	10～ 11	いちじくの木に登って収穫作業中、約2mの高さから誤って足を滑らせて地面に転落した。その際、背中から落ち、後頭部と頸部、腰部を強打した。	70	1	712	10 ～ 29
35	2017	9	13～ 14	集荷施設で、小松菜の入ったコンテナを2トントラックから荷降ろし作業中に、荷台の後方から誤って足を踏み外し転落した。そのとき右手手首を骨折した。	50	1	221	10 ～ 29
36	2017	9	15～ 16	りんご木伐採作業中に、電動工具にてケガした、切った木材を加工中、右手で電動工具を持ち左手で木材を持って作業していたところ、誤って左手の親指と中指を工具の刃で切ってしまった。	69	8	133	1～ 9

37	2017	9	16～ 17	作業倉庫前において、フレコン（豆など入れる袋）を支える鉄の棒（4本足の丸リング型）を軽四から荷降ろし作業後、本人が降りる際、鉄の棒が逆になっている事に気付かず、お尻にささり重傷。	36	3	521	10 ～ 29
38	2017	9	8～9	ブロッコリーの収集作業をしていた際、ブロッコリー運搬車の前方にて作業中に右足を踏まれ転倒したもの。	68	7	229	1～ 9
39	2017	8	10～ 11	ナスの収穫中、蛇に噛まれた。	61	90	719	1～ 9
40	2017	8	17～ 18	鉄塔敷地内での草刈出張作業を終え、会社に一旦帰社してから退社した後、体調が悪くなった。	45	11	714	10 ～ 29
41	2017	8	14～ 15	電動バリカンで樹木を切っていたとき、誤って右膝に電動バリカンの刃が当たり負傷した。	34	8	139	1～ 9
42	2017	8	13～ 14	道路上にて、被災者が除草作業中に出た蔓や草をバッカー車に積み込んでいた。蔓も草も多く、投入口の回転板を連続回転させながら手積みし、積み込み作業を繰り返し行った。その際、蔓が手に巻き付いていることに気づかず、回転板に手が巻き込まれてしまった。会社にてバッカー車の安全な使用方法、安全装置の場所の講習を受けていたが、手が巻き込まれてしまった瞬間、パニックになり、自分では早急な対応ができず、横にいた作業員が緊急停止ボタンを押して、回転板が停止した。	48	7	221	1～ 9
43	2017	8	17～ 18	施設内にて苺の栽培ベンチ（約12kg）を運ぼうとし、持ち上げようとしたとき、持ち上げきれずに落としてしまった。落ちる際に右足膝下辺りに当たり、帰宅後、徐々に痺れが出始め、さらに痛みが酷くなった。	21	4	379	1～ 9
44	2017	8	9～ 10	個人邸にてシイノキ伐採作業中、トラック荷台に切った枝を下ろす途中、引網を送り込んだ際に下枝に干渉し、そこに引っ掛かっていた枝が落下し、背中左側に当たり負傷した。	43	4	712	1～ 9

45	2017	8	15~ 16	当農園内において、りんごの葉摘み作業中、休憩に入るため休憩場所へ向かう途中足を滑らせ転倒した際、右肩を強く打ち負傷したものである。	73	2	416	1~ 9
46	2017	8	15~ 16	玉ねぎ圃場にて3人でけん引式ピッカーにて玉ねぎ収穫作業中に、停止したピッカー前方のギアに挟まった石を取り除く際に、妻が勘違いし、スタートレバーを操作したため前方のローラーに左腕の肘から肩の間が挟まり、左腕を骨折した。	50	7	169	1~ 9
47	2017	7	10~11	茶園にて、オペレーターと生葉運搬者2名で3番茶を摘採し、摘採機で収穫された生葉を2tダンプへ積み込む作業をしていた。ダンプへ3回目の積み込みを行い、茶葉をならしている時にコンテナの底板を閉じたことにより底板に胸を挟まれた。発生の主な原因は、茶葉をならす際に誤ってコンテナの中に入ってしまったことと、オペレーターが積み込み時の状況を、目視や声かけなどで確実に確認しなかったことである。	63	7	169	10 ~ 29
48	2017	7	9~10	自社栽培地の畑にて、里芋の消毒作業が終わり、ホースを巻いて回収していた。畑の隅の列にあまった種芋を植えてあり、踏まないように注意喚起のために立ててあった農業資材の棒にホースが引っかかった。ホースを取ろうとしゃがもうとした時に、棒が目当たった。	19	3	522	1~ 9
49	2017	7	14~15	樹木剪定現場に於いて、木の剪定を行い、三脚から降りていたところ、切った枝が足元にあったため足で踏み落とそうとした時、バランスを崩して約1m30cmの高さから地面に落ち、その際、右肩、右手首を打ち負傷した。	69	1	371	1~ 9
50	2017	7	11~12	傾斜のある柿畑で摘果作業をして土手（2m以上）ある場所より足を踏みはずし転んだ。	77	1	711	1~ 9
				構内にて、ヘッジトリマー（ブレード長600mm）を使用して、低木（サツキ）の刈り込み作業中、低木の上端をヘッジトリ				30

60	2017	6	14~ 15	畦畔の草刈り作業中に、右腕を虫に刺され、腫れた。	63	90	719	1~ 9
61	2017	6	14~ 15	個人邸庭園の樹木維持管理作業において、高さ7m程度の所で樹木を剪定していた際に落下し、落下中に建物の屋根にぶつかり地面に落ち、右脇腹と左手薬指を負傷した。	36	1	712	1~ 9
62	2017	6	9~ 10	当社苗栽培ハウスで出荷作業中に、床面くぼみに足をとられ転倒した。その際、右足くるぶしを骨折した。	50	2	416	1~ 9
63	2017	6	13~ 14	ビニールハウスでの作業中に、移動するためハウスの間を通行していたところ、雨水を逃がす溝部分で足を滑らせ左足首を捻った。	51	2	417	1~ 9
64	2017	5	14~ 15	畑で草刈機使用中、草に足を引っ掛けて強く転倒し、左の腰から足にかけて打撲し、痛みが取れずに歩きにくくなった。	73	2	719	1~ 9
65	2017	5	9~ 10	個人宅にて、高さ2.5m位の場所から下に停めてある2tダンプに剪定ゴミを落としている時に、フェンスが倒れて頭から2tダンプの荷台に転落した。	65	1	418	10 ~ 29
66	2017	5	9~ 10	梅畑で木の上に乗って梅採り作業中に、足元が滑って後ろ向きに落ち、右手首付近を負傷した。	67	1	712	1~ 9
67	2017	5	11~ 12	木の枝を細かく処理する為に車の上でチェーンソーを使用中、枝に当たったチェーンソーが跳ね返って、誤って左手小指に当たった。	68	8	136	1~ 9
68	2017	5	16~ 17	お客様宅の作業現場にて、製作中に大雨が降り、ダンプ脇に置いてあった電動工具をダンプキャビン内に移動させようと慌てて走り寄った際に、深さ15~20cm程度の側溝に右足を落として転倒し、右膝の半月板が断裂した。	33	2	417	1~ 9
69	2017	5	13~ 14	作業場でコンテナを運び出す作業中に渡されたコンテナの中に蛇が巻き付いており、驚き転倒し、手と頭を打ち、左手首を骨折した。	64	2	719	10 ~ 29

70	2017	5	8～9	倉庫内でリンゴ箱をパレットに並べている作業中、次に使用するパレットを運んでいる時、手に持っていたパレットを誤って手を滑らせて足に落とし、右足の人差し指と中指を骨折した。	28	4	379	1～9
71	2017	4	11～12	圃場でじゃがいもを収穫し、トラックに積み込む作業中、コンテナを左足ひざの内側にぶつけて打撲した。	36	3	611	10～29
72	2017	4	15～16	水稻育苗庄土篩い作業をしており、休憩をとる為、稼働していたベルトコンベアーの電源スイッチを切る時、スイッチはベルトコンベアー左下に位置しているが、右側下より手を伸ばしてスイッチを切ろうとした。その際、回転しているベルトに衣服を巻き込まれ、右手をベルトとローラーの間に挟まれ、右手を負傷した。	65	7	224	100～299
73	2017	4	10～11	事業場倉庫で2階から1階へ農業資材の荷物をおろす作業を行っていたところ、倉庫の床を踏み抜いて足を突っ込み、首を捻って負傷した。	54	9	416	10～29
74	2017	4	10～11	ハシゴに登って剪定作業中、切った枝がハシゴに当たり、バランスをくずして落下した。	45	1	371	1～9
75	2017	4	9～10	園芸レジ横でダンボールを加工して苗箱を作成する作業をしていた際に、切断に使用していたカッターナイフの刃がダンボールの固い素材に引っ掛かったため力を入れたところ、勢いよく切れて自身の右ひざ上も切ってしまった。	65	3	221	10～29
76	2017	4	13～14	ポット土詰め作業場において、空のポット容器を搬出作業中に、下に置いてあったポット容器につまずいて、前のめりに転倒した。	65	2	416	10～29
77	2017	4	9～10	高所の木の上で枝落としの作業中、チェーンソーで幹を切っている最中に自分自身の安全帯（命綱）が切っていた幹に引っぱられ、登っていた幹と切った幹に腹部が挟まれ、命綱のベルトが腰のあたりを圧迫した。	41	7	712	1～9

78	2017	4	11~ 12	トラックの荷台上で野菜苗が入っているトレーを苗棚より積み降ろし作業中、誤ってバランスを崩し荷台上にて転倒し、右脇腹を強打した。痛みがあったがそのまま作業したところ、痛みがひどくなり気分が悪くなった。後日に右肋骨（9番）にヒビが入っているとの診断を受けた。	46	2	221	10 ~ 29
79	2017	4	11~ 12	リフトでトラックの荷台へフレコン（肥料）の積み込み作業中、荷台に積んだフレコン（肥料）から飛び降りる際にバランスを崩してしまい、地面へ右足の踵を強打し骨折となる。	55	1	611	1~ 9
80	2017	3	15~16	農作業中にU字溝（幅95cm、深さ80cm）を跨いで渡ろうとして、足が滑り、U字溝に肩を強打し、脱臼骨折した。	53	1	417	1~ 9
81	2017	3	8~9	人参トンネルにて、人参の抜き取り作業をしていたところ、人参の周辺に生えていた雑草も抜こうと思い、左右に体を捻りながら抜いていたとき、腰を強く捻ってしまい、ぎっくり腰になってしまった。	65	19	911	1~ 9
82	2017	3	10~11	マッシュルームの栽培棟内で、出入口に置いてある摘み取り用のカゴを取りに行く途中、摘み取り台をくぐる時に足を滑らせて転倒した。	62	2	417	50 ~ 99
83	2017	3	9~10	ハウスで収穫したみつばを軽トラックに積み込んでいた際、よろけて舗装路面に尻もちをついた。	54	2	921	10 ~ 29
84	2017	3	8~9	自社の農機具置場で、トラクターのエンジンのかけ方を教えていた。そこで本人が見ていたが、アクセルを上げていなかったため、本人がアクセルを急に上げたところ、エンジンがかかり、トラクターが前進し、右足をふんでしまった。クラッチをニュートラルにしていなかった事、クラッチを切っていなかった事、急にアクセルを上げた事が原因である。	32	7	229	1~ 9
				収穫用ゴンドラの上で（高さ約2m）マッシュルームを収穫し				

85	2017	3	9~10	て、下で受け取る人に渡す作業をしていた。不自然なポーズで作業していたため、サンテナ（マッシュルームを収穫した箱）を受け取る者が別作業をしていて渡せなかったため、サンテナを再び持ち上げたときに尻から落下して負傷した。	21	1	416	50 ～ 99
86	2017	3	9~10	倉庫でトラックの夏タイヤを探していて梯子を使用して2階から1階へ下りようとしたところ、（高さ約2.2m）かけていた梯子の座面が滑り、梯子ごと転倒し、着地する際に足をついた。	65	1	371	10 ～ 29
87	2017	2	13~14	サトウキビ畑でキビの苗取りを鎌を使って行っていた。（キビ茎のカット作業。）誤って鎌で左手の甲を手袋の上から切ってしまった。1人で作業中だったため、自分で病院へ行き、12針縫う治療をした。	55	8	364	10 ～ 29
88	2017	2	8~9	柑橘撰果場で、10kg段ボールに詰められたデコポンを所定の位置まで運びパレットに積む作業を行っていた。積み上げられたパレットの上段に荷物をのせる際、使用していた手押し台車に型足を踏み掛け段ボールをのせようとしたところ、台車が動きバランスを崩し、転倒し頭部を強打した。	70	2	362	1～ 9
89	2017	2	9~10	飼料倉庫にて飼料を2t車より降ろしている時に足を踏み外し約1m下に転落し資料置場（パレット）で顔左側面上部を強打負傷した。	67	1	221	100 ～ 299
90	2017	2	10~11	畑の中央で草を焼いていたところ、ガソリンタンクから漏れていたガソリンに引火し顔を熱傷した。	63	11	512	10 ～ 29
91	2017	2	7~8	現場に出かけようと、事務所の階段を下りて道路に出ようとした際に不注意で躓き、右足を捻ってしまい、右足首を負傷した。	45	2	417	1～ 9
				パレットに積載した米（約1t）を別の空パレットに積み替える作業を従業員2人組で行っていた。被災者の指示で、フォークリフトを運転している相手方が米を積載したパレットを完全に				

92	2017	2	15~16	下まで下ろすことになった際、フォークリフトを運転していた相手方はパレットの下に被災者の足が来ていることに気付かず、パレットを降ろしてしまい、被災者の左足親指が下敷きになってしまった。	55	7	222	1~9
93	2017	2	10~11	庭で、庭木の剪定作業中に、切り落とした枝がハシゴに当たり、ハシゴが倒れ、地面に落ちて体を強打し、負傷した。	62	1	371	1~9
94	2017	2	16~17	二つ折れ梯子（7m位）を斜面に立て掛け、ブロックの隙間に生えている雑草を剪定鋏で作業中、降りようと移動した時、足を踏み外し、梯子の地上3m居位置より転落受傷したものである。	67	1	371	—
95	2017	1	15~16	貯蔵庫から外に出したキャリーケース（コンテナ）の中の芋（約20kg）をベルトコンベアーに移し、その両脇に3人ずつ立ち選別作業をしていた。被災者は選別された芋（良質）がベルトコンベアーからフレコンバッグ（直径1m、高さ1m）に落下する横の位置に立ち、フレコンバッグに入る芋を平らにする作業をしていたが、落ちてくる芋につい手を差し出してしまい、手袋の元がベルトコンベアーのベルトとその下のローラーを固定する金属の間に挟まり、右手親指を負傷した。	77	7	224	30~49
96	2017	1	14~15	ネギ調整作業場にてネギ調整が終わったケースを持ち運び中、ゴミ入れのケースに足を入れて滑り、左足を捻挫し、左手親指付け根を打撲した。	67	2	379	10~29
97	2017	1	11~12	高木伐採作業中、別の者が樹上で枝払い作業中、落下させた枝が下にあるブロックにあたり、その枝が跳ねた。下で見張り中の作業員がその枝の跳ねを止めようと枝を踏みつけた時、その枝が作業員の左足にぶつかり負傷した。	39	4	712	—
98	2017	1	16~17	庭工事中に車の荷台で荷下ろしをしようとしていた時、後向きで落ち骨折した。	18	1	221	1~9
				剪定作業後ダンプ荷台でチェーンソーを使用して丸太枝を切る				

99	2017	1	8～9	作業中、誤ってチェーンソーの刃が右膝に触れてしまい、右膝を負傷した。	48	8	136	—
100	2016	12	13～14	事業所内作業場にて、きゅうりの箱詰をしており、詰め終わったきゅうり箱を足元に並べていたところ、その箱にぶつかり転びそうになったため体をよじり、体勢を崩してしまい、近くにあった机の角で左脇腹を打ち負傷した。	60	3	391	50～99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。